



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	はじめに
Author(s)	平本, 健太; 東山, 寛
Description	北海道大学大学院経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センター長および総合司会ご挨拶
Citation	地域経済経営ネットワーク研究センター年報, 14, 2-3
Issue Date	2025-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/94415
Type	other
File Information	REBN_14_002.pdf



はじめに

東山：どうもこんにちは。時間になりましたので、シンポジウムを始めたいと思います。私は申し遅れましたが北海道大学大学院農学研究院の東山と申します。本日の総合司会を担当させていただきます。

それでは、まず今回は北海道経済学会の2024年度大会のシンポジウムということですが、共催として北海道大学大学院経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センターのセンター長平本先生よりまずご挨拶をいただきたいと思います、よろしくお願いします。

平本：みなさん、こんにちは。北海道大学大学院経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センター長の平本と申します。今東山先生よりお話がございましたとおり、今回のこのシンポジウムは北海道経済学会と、地域経済経営ネットワーク研究センターの共同開催ということでお届けします。本日は足元の悪い中、こんなにたくさんの方々にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

今回のテーマは「ワイン産業のいまと未来―北海道から世界へ―」ということでございまして、この20年ぐらいで北海道のワインを取り巻く環境というのは大きく変わったと言われています。今日は、北海道大学の北海道ワイン教育研究センター長でいらっしゃる農学研究院の曾根先生、そして以前富良野ワインで製造の責任者をやっていたらっしゃって、今ワインのコンサルタントなど様々なお仕事をされている高橋様、そして今余市、仁木といえば北海道のワインの産地として一番盛り上がっているエリアでございしますが、その余市町長をされている齊藤様。このお三方をお招きし、ご講演いただき、その後に東山先生に司会をしていただきパネルディスカッションをするという構成で、北海道のワインの今と未来についてみんなで考えてみたいと、そういうシンポジウムです。

この中には、ワインが大好きな方、それから好きの程度は別にして、ワインをたしなまれる方はたくさんいらっしゃると思います。私も今日のシンポジウムに備えまして、昨日の夜はシャルドネを1本飲んでまいりました。準備万端でございます(笑)。そのようなわけで、今日のこのシンポジウムをみなさまにおかれましてはお楽しみいただきますとともに、フロアからご発言いただく時間があればご質問、ご意見などもたまわれるかと思っております。時間の許す限り質疑応答ができればと思っておりますが、今日この後、学会の会員の方を対象にしたエクスカッションが予定されておりますので、終わりの時間だけはきっちりと終わらなければいけないというように言われておりますので、そういうことも含めまして、もしお時間があればということでご容赦いただければと思います。

今日のこのシンポジウムがみなさまにとって有意義な時間になることを願っておりますので、どうかよろしくご協力のほどお願いいたします。

簡単ですが、ご挨拶に代えさせていただきます(拍手)

東山：それでは、これからシンポジウムに入っていきたいと思います。最初に基調講演、その後二つの講演、そしてパネルディスカッションと続いてまいります。今回は3人の大変すばらしいパネラーの方にお集まりいただいております。なかなかこの3人の方が一堂に会する機会というものではないのではと思っております。

基調講演は北海道大学の曾根先生ですが、このほど北大で鳴り物入りでオープンいたしました北海道ワイン教育研究センターの所長を務めておられます。農学研究院では実はもう一つ「スマート農業教育研究センター」というのもオープンしております、機会がありましたらぜひともこの二つにお立ち寄りいただければと思っております。

それから、お二人目が余市町長の齊藤様でありまして、つい最近もフランスの大変有名なワイン産地との友好協定なども結ばれておられ、まさに今日のテーマの北海道から世界へというタイトルに大変ふさわしい取り組みをされているところから、ご報告、お話をいただければと思います。

そして、3人目は、現在恐らく北海道では唯一の方ではないかと思いますが、ワイン産業の総合コンサルタントという肩書きをお持ちの高橋様でございます。高橋様は、富良野ワインの製造の責任者を20年以上にわたって務めてこられた大ベテランですが、北海道のワイン産業全体を見渡して大変貴重なお話を伺えるかと思っています。よろしくお願いいたします。

今日は、以上の方方にパネラーもつとめていただきます。会場にもおそらくワイン関係者の方々がたくさんいらっしゃると思いますので、私は司会進行に徹しまして、みなさんのお話を聞いたり振ったりしてこの後のシンポジウムとパネルディスカッションを進めていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速なのですが、曾根先生からキーノートスピーチをお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。